

# 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金 2017年度 事業報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

## 【2017年度概要と成果】

2017年度は、マルチステークホルダーによる課題解決の取り組みを促進し、インパクト志向の助成事業を実施するために、昨年度から継続してコレクティブインパクト事業や助成プログラムのリニューアルに取り組みました。

一方で資金調達が計画通りいかず、財政的に厳しい年となりました。改めて当財団の強みは何か、地域に果たす役割は何か、目指す地域とはどのような状態なのかを内省し、財団の価値を継続して見出していく必要性を実感した年となりました。

特に今年度は以下の3点を重点テーマとして取り組みを進めてきました。

### ○寄付受け入れ体制の強化

多様な寄付の機会を提供するために、遺贈寄付拡大のためのセミナー開催、いぞう寄付の窓口の周知と相談対応を強化した。その結果、冠基金 さくら基金 の設置や相続診断士会等の専門家とのネットワークづくりにつながった。

また、だれもが気軽に寄付に参加できる仕組みとして、寄付つき自動販売機の設置、リサイクル品による寄付プログラム（カイトリ、ボランティア宅本便、使用済みインクカートリッジ）の体制を整えた。

課題解決事業への資金調達は、団体とのコミュニケーションやインセンティブに課題が残った。

### ○助成事業の質の向上

2016年度から継続している全国コミュニティ財団協会の事業、多様な主体による課題解決を目指すコレクティブインパクトモデル事業では、支援対象を絞るための中学生アンケートや地域円卓会議を実施し、行政や教育機関、市民、公益活動団体等と課題の顕在化と共有ができた。

テーマ型基金 子どもの今と未来を支える基金 については、協働事業や共通の目標を持つプロジェクトチームへの支援が可能となるよう要項及び選考基準の変更をした。

### ○持続可能な組織運営体制構築

クラウド型ソフトウェアを導入し、管理業務の効率化を図った。

また、法人の信頼性や事業拡大を進めていく上で必要となる規程類、寄付金取扱規程や業務受託基準等の整備を始めた。

冒頭にも触れたが、財源づくりの面では課題が残った。

## 【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

### 1. 助成に関する事業

2017年度は総額818,600円を助成した。内訳は、事業指定助成が61,600円、テーマ型が757,000円だった。

また事業指定助成、テーマ型助成の2事業を対象に伴走支援を実施した。

#### (1) 事業指定助成プログラム

事業計画に基づき、第6期の助成先募集、決定、寄付募集を行った。

本プログラムは、公募・審査を経て採択された公益活動（事業）に対して市民公益活動団体（NPO）と財団が一緒になって寄付を集める資金調達プログラムであり、当財団はホームページ内に専用ページの設置や寄付カタログの提供を行い、寄付を募った。また、採択団体に資金調達に関する研修を実施し助言を行った。

・寄付募集期間：2017年10月1日～2018年3月20日

事業名・団体名	目標額	寄付額	件数	達成率	助成額
チャンス創造ファンド～働きづらさを抱える人が就労支援を受ける機会を増やしたい（NPO 法人ユニバーサル就労ネットワークちば・千葉市）	600,000円	77,000円	11	12.8%	61,600円

#### (2) テマ・地域提案型助成プログラム

##### ①子どもの今と未来を支える基金

未来を担う子どもたちが健やかに育つ地域社会をつくるために当財団が設置したプログラムで、リーフレットやウェブを活用し寄付を募った。個人寄付による原資を積み上げ、60万円の助成を行なった。助成事業の成果を高めるための伴走支援や活動現場訪問等も合わせて実施した。

2017年度は成果志向の助成事業を行うために、要項及び選考基準の変更を行った。

##### ■子どもを取り巻く社会課題の深掘りと解決策の先行事例の調査・発信・共有助成

- ・助成先：NPO 法人ダイバーシティ工房 発達障害児の支援者を増やすための基盤づくり
- ・助成金額：50万円（2016年度助成実施）
- ・助成対象期間：2017年1月1日～10月31日 ※団体の申し出により1ヶ月の事業期間延長
- ・報告会：10月28日（土）ダイバーシティ工房スタジオ plus+本八幡教室にて開催。10名参加
- ・調査報告書500部作成し学校、関係機関、医療機関へ理解者を増やすための共有を行う。
- ・事業指定助成プログラムでの課題共有と資金調達は実現しなかった。

## ■活動支援助成

・助成先：

団体名	所在地	事業名	助成額
NPO 法人ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク	習志野市	フリースクールで行われる多様な学習支援	200,000 円
NPO 法人ウィーズ	船橋市	離婚後の親子の面会交流に関するイベントの開催	200,000 円
NPO 法人カフェ・バルコニーの家	千葉市	モーニング子供食堂	200,000 円

・助成対象期間：2017年4月1日～2018年3月31日

## ②九州北部豪雨災害募金

7月の九州北部における豪雨災害により、被害を受けた地域での支援活動を支援するため、緊急募金を実施し、全額を助成した。

- ・寄付募集期間：2017年7月18日～9月15日
- ・寄付状況：157,000円
- ・助成先：朝倉災害母子支援センターきずな（福岡県朝倉市来春 328-1）
- ・助成額：157,000円

## ③冠基金プログラム

### ■さくら基金（新規設置）

個人の方からの支援先についての相談から、冠基金新規設置につながった。

具体的には、設置者以外からの資金追加を可能とし、児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが自立した生活を送ることができるように、今後、支援団体が実施するキャリア支援事業やアフターケア事業などに対し助成される。

当財団としては資金の追加募集を行い、助成事業の案件組成を行う。

### ■生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金

2015年度に助成した7団体の事業報告と交流会を開催した。冠基金設置者である生活クラブ生協組合員や選考委員も参加し、各団体の活動による成果を共有し、団体同士の交流を図った。

- ・日時：7月12日（水）10：10～13：00
- ・場所：生活クラブ虹の街地域交流スペース渚
- ・参加者：23名
- ・報告団体：

団体名	所在地	事業名
日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス実行委員会	千葉市	日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス説明会 2016inCHIBA

フードバンクちば	千葉市	フードバンク事業を基点とした中間的就労の場づくり
NPO 法人 B-Net 子どもセンター	酒々井町	第10回 B-Net 子ども夏祭り～僕たちがつくる酒々井の夏～
NPO 法人コミュニティワークス	木更津市	水耕栽培事業（生活介護）
NPO 法人カフェ・バルコニーの家	千葉市	作業効率と安全性を確保するための事業所改装
NPO 法人千葉盲ろう者友の会	千葉市	盲ろう者の掘り起こし事業
NPO 法人ほっとすぺーす・つき	佐倉市	居場所事業

## 2. ファンドレイジング・チャリティに関する事業

2017年度は寄付総額 2,218,347 円と計画通りの資金調達ができなかった。内訳は事業指定助成プログラム 77,000 円、テーマ型 744,309 円、冠基金 500,000 円、財団運営寄付 897,038 円だった。

新規の取り組みとしては、直接的な寄付以外にも気軽に公益活動支援に参加できる仕組みとして、不用品、使用済み品のリサイクルによる受け入れ体制を構築した。12月の寄付月間 2017 では、ボランティア宅本便を公式イベントとして参加した。

また、遺贈寄付開拓のため全国コミュニティ財団協会から委託を受け、遺贈寄付に関する情報発信、専門家とのネットワークづくり、遺贈寄付セミナーを開催した。

### ① 多様な寄付の機会の提供

- ・寄付付き自動販売機（支援ベンダー）：新規設置 2 台（合計 6 台）
- ・買取寄付プログラム カイトリ：チラシを DM にて送付。実績なし。
- ・ブックオフオンライン・ボランティア宅本便：寄付件数 3 件
- ・使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置：7 ヶ所
- ・寄付付き商品：認定 NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所（茨城県）発行の英単語カレンダー、ひらがなれんしゅうちょう等をパルシステム千葉、生活クラブ生協の組合員向けに販売した。

### ② 財団運営支援

継続的に財団運営を応援してもらう仕組みとしてのサポーター登録の呼びかけを実施。その結果、サポーター個人 16 名、法人 2 社となり寄付額は 363,000 円となった。

12 月には歳末チャリティキャンペーンとして既存寄付者に寄付を依頼し、年間合計約 534,000 円の寄付となった。

### ③ 遺贈寄付促進

全国レガシーギフト協会加盟団体として千葉県の相談窓口を担当、相談件数 2 件。

遺贈寄付の相談から実際の執行までには時間がかかるため、地道な周知活動と丁寧なコミュニケーションが求められる。受け入れ体制づくりとして、全国レガシーギフト協会主催の相談員研修への参加、相続診断士、税理士、司法書士とのネットワークづくり、遺贈寄付セミナー開催に取り組んだ。

- ・相談員研修：4回（6/6、8/23、10/5、12/14）
- ・士業向け遺贈寄付セミナー：11月22日@クロス・ウェーブ幕張、12名参加（司法書士・税理士・行政書士・FP他）、参加者満足度88%
- ・NPO向け遺贈寄付セミナー：1月25日@千葉県ビジネス支援センター、22名参加、参加者満足度87%

### 3. 地域支援

ソーシャルセクターも淘汰されていく時代に、コミュニティ財団として単なる団体支援だけではなく、課題の実態に即した案件組成から資源調達を担い成果を収めるために、2016年度よりモデル事業として松戸市で取り組んでいる。本事業では、パートナーとしてNPO法人まつどNPO協議会と取り組み、松戸市や松戸市教育委員会にも協力していただき実施した。

#### ■社会的投資時代の新水準に合致したコミュニティ財団セクターの機能強化事業（コレクティブインパクトモデル事業）（全国コミュニティ財団協会委託事業）

持続可能な地域社会づくりを構築するために、多様なセクターが枠を越え互いに強みやノウハウを持ち寄り、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変革を推進することを目的とした事業で、日本財団から助成を受け全国コミュニティ財団協会が委託し実施された。

千葉では2016年度より継続して「社会的孤立を防ぐコレクティブインパクト」として実施した。

#### 【2017年度実施内容】

- ・背景：松戸市生活保護受給率千葉県第2位、市、教育委員会「子どもの貧困問題」を重点課題として取り組む
- ・テーマの再設定：家庭に係る状況に起因する不登校問題
- ・KGI（最終目標達成指標）：家庭に起因する不登校児童生徒数をゼロにする
- ・実施内容：支援対象者の設定のための調査実施と課題の共有
  - ① 関係各所へのヒアリング（市担当課、支援団体）
  - ② 支援団体による現状共有の円卓会議
  - ③ 中学2年生1500人を対象にアンケート実施（教育委員会）
  - ④ 母子世帯で生活保護を受給している世帯の状況調査（市担当課）
  - ⑤ 不登校の要因について調査、問題構造分析
  - ⑥ 当事者へのヒアリング
  - ⑦ 地域円卓会議視察（みらいファンド沖縄）

⑧ 地域円卓会議 in 松戸開催：参加者：53名、満足度 4.3 5

#### 4. 情報収集・発信

ホームページ、ブログ、SNSによる情報発信を随時、メールマガジンを月に一度発行した。

また年次報告書ダイジェスト版を作成し、寄付者や関係者に配布したほか、成果報告会を開催し助成事業による成果を共有し、参加者同士の交流を図った。

#### ■助成事業成果報告会 2017

- ・日時：7月29日（土）13:00～17:00
- ・会場：千葉市ビジネス支援センター 会議室1・2
- ・参加者：28名
- ・参加団体・報告事業：

##### 【事業指定助成プログラム第3・4・5期】

公益財団法人金谷美術館 鋸山登山道整備事業

NPO 法人子どもの環境を守る会 Jワールド 中高生の居場所『ユースペース』運営事業  
報徳の会 廃校を再生して地域の活力を取り戻すための活動拠点づくり『内田未来楽校』

##### 【冠ファンド 東日本大震災被災地・被災者支援活動助成】

わかば お茶っこ しょう会 地域みんなで震災支援『お茶っこ』

iii Project（トリプルアイプロジェクト） 震災から5年～見つめ直そう私たち出来る事～

##### 【子どもの今と未来を支える基金】

NPO 法人世界のともだち 家庭訪問型子育て支援 しゅっぽっぽ

認定 NPO 法人生活困窮・ホームレス自立支援 ガンバの会 夢塾で笑顔を（生活困窮家庭を応援する学習支援）

#### 5. 他機関等との連携

##### ①一般社団法人全国コミュニティ財団協会との連携

全国コミュニティ財団協会の一員として全国のコミュニティ財団と情報共有、相互研鑽を行った。2017年度はコレクティブインパクトモデル事業の実施、研修に加え、プログラムオフィサー研修4回、事務局研修、監事研修、公益法人制度・運営基礎研修など人材育成に重点をおき、コミュニティ財団の底上げを図った。

また、理事団体として関東ブロック会議を2回開催し、情報共有、相互支援を行なった。

##### ② ちばソ シャルビジネス支援ネットワ ク

地域社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を支援するため、2017年1月に発足した本ネットワークに支援機関として参加した。

## 6. その他

- ・印西市市民活動推進委員会に年 6 回出席し、主に企画提案型協働事業の審査にあたった。
- ・千葉県協働まちづくりセミナー 寄附による志金の循環を学ぼう！ 講師
- ・視察、取材の受け入れを 3 件対応した。

## 【法人運営（管理）事業】

### 1. 機関会議の運営

#### （1）理事会の開催

定例理事会を4回、臨時理事会を1回開催した。

- ・第1回理事会（2017年5月11日18時～20時30分 ホテルメイプルイン幕張）  
2016年度事業報告及び決算案、定時評議員会開催内容、2015年度計算書類修正等
- ・臨時理事会（2017年6月27日 みなし決議）  
主たる事務所の移転の承認
- ・第2回理事会（2017年9月27日 みなし決議）  
九州北部豪雨災害緊急募金 助成先の承認
- ・第3回理事会（2017年12月12日18時～20時30分 財団事務所）  
テーマ型基金（仮称）地域づくり基金 設置承認等
- ・第4回理事会（2018年3月13日18時～21時 財団事務所）  
2018年度事業計画及び予算、冠基金 さくら基金 新規設置の承認等

#### （2）評議員会の開催

定時評議員会を1回開催した。

- ・第1回評議員会（2017年6月13日18時～20時 ホテルメイプルイン幕張）  
2016年度事業報告、決算書類決議等

#### （3）監査の実施

- ・監事が全3回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施した。
- ・2017年5月2日に2016年度の監査を実施し、監査報告書を作成した。

### 2. 寄付者等の情報管理（Donor Relationship Management）

個人情報保護規定等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce社のシステムを利用、データベースの適切な管理と活用を行った。

Salesforce利用にあたっては、Salesforce社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいる。

※Salesforce CRMクラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO法人等への無償提供プログラムなどCSRにも積極的に取り組む。<http://www.salesforce.com/jp/>

### 3. その他

- ・2017年7月、法人事務所を千葉市中央区春日1丁目20-15篠原ビル301に移転した。
- ・事務局業務は専従3名体制で行った。



公益財団法人ちばのWA地域づくり基金  
2018年度 事業報告書  
(2018年4月1日～2019年3月31日)

【2018年度概要と成果】

- ・ 2018年度は、地域課題の掘り起こしとマルチステークホルダーをつなぎ公益の増進を推進することを目的に、地域円卓会議の開催やコレクティブインパクト事業、連携・協働を重視した助成公募を実施しました。関係者からは多様な資源を仲介する財団として評価をいただきました。
- ・ 当財団の実績や機能、特に資金提供に係る審査選考、現場の団体への伴走支援・基盤強化支援を評価をいただき、新たに助成業務委託を受けることができました。
- ・ 財政的には課題が残り、職員の退職による人件費の削減を行いました。寄付金額も減少していることから、改めてコミュニティ財団として地域課題の把握・分析、包括的な支援プログラム・事業の設計をした上での資金調達の必要性を実感した年でした。

【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

1. 助成事業

(1) 事業指定助成プログラム

事業計画に基づき、第7期の助成先募集、決定、寄付募集を行いました。

本プログラムは、公募・審査を経て採択された公益活動（事業）に対して市民公益活動団体（NPO）と当財団が一緒になって寄付を集める資金調達プログラムで、当財団はホームページ内に専用ページの設置や寄付カタログの提供を行い、寄付を募りました。

また、採択団体に資金調達に関する研修や事業概要を周知する場づくり（シェア会議）を行いました。

- ・ 寄付募集期間：2018年10月1日～2019年3月31日

事業名・団体名	目標額	寄付額	件数	達成率	助成予定額
親の離婚を経験した子どもたちの「心」に寄り添うサポーターを育てるプロジェクト（NPO法人ウィーズ・習志野市）	780,000円	288,500円	31	36.98%	230,800円

(助成金拠出は次年度実施します)

(2) テーマ・地域型基金

ア. 子どもの今と未来を支える基金

未来を担う子どもたちが健やかに育つ地域社会をつくるために当財団が設置したプログラムで、リーフレットやウェブサイトを活用し寄付を募りました。個人寄付や寄付付き商品による原資を積み上げ、助成と伴走支援も合わせて実施しました。

(ア) 2018年度助成事業

- ・ 公募期間：2018年5月28日～6月15日
- ・ 助成総額：1,000,000円

・助成先：

団体名	所在地	事業名	助成額
NPO 法人ほっとすぺーす・つき	佐倉市	家庭訪問型子育て支援『ホームスタート・さくら』普及のための冊子づくり	430,000 円
NPO法人 Art for Children's SHINE	富津市	児童養護施設野の花の家（木更津市）でのアートセラピー活動の継続的实施と作品展／ワークショップの開催	350,000 円
松戸市 10 代向け情報発信・調査研究プロジェクト	松戸市	松戸市 10 代向け情報発信・調査研究事業	220,000 円

・助成対象期間：2018 年 8 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

### (イ) 助成事業成果報告会

2016 年度に助成をした 3 団体の活動成果報告会を 6 月 16 日に千葉市ビジネス支援センターで開催しました。報告団体は、NPO 法人ネモチば不登校・ひきこもりネットワーク、NPO 法人ウィーズ、NPO 法人カフェ・バルコニーの家で、いずれも制度ではカバーされない活動であるため、活動が継続できる資金のほか、専門性を持った担い手を育成し、働き続けられる体制整備が求められていることがわかりました。

### (3) 冠基金プログラム

#### ア. さくら基金

児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが不安を抱えることなく、自立した生活を送ることができるように、支援団体が実施するキャリア支援事業やアフターケア事業などに活用される基金であり、今年度は寄付募集とプログラム企画立案のためのヒアリングを行いました。

#### イ. 生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金

2016 年度に助成した 8 団体の成果報告会を開催しました。後半は「助成事業の成果を活かす次の戦略」と題し、公益財団法人地域創造基金さなぶり専務理事の鈴木祐司さんを講師に迎え、助成団体向けにセミナーを開催しました。

本基金の実施については、この報告会をもって終了となりました。

## 2. 資源仲介事業

公益活動を支援したい個人、企業、団体等からの資金以外の各種資源（人材、物品、情報など）を市民公益活動団体に仲介する事業であり、今年度は以下の事業を行ないました。

### (1) 多様な寄付の機会の提供

- ・寄付付き自動販売機（支援ベンダー）：新規設置なし（合計 6 台）
- ・買取寄付プログラム「カイトリ」：実績なし
- ・ブックオフオンライン・ボランティア宅本便：寄付件数 2 件
- ・使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置：8 ヶ所

これらの寄付金は公益目的事業運営として一般寄付金になります。

- ・募金箱の設置：1ヶ所
- ・寄付付き商品：認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所（茨城県）発行の英単語カレンダー、ひらがなれんしゅうちょう等をパルシステム千葉、生活クラブ生協の組合員向けに販売しました。  
これらの寄付金は「子どもの今と未来を支える基金」への寄付になります。

## **(2) 情報共有の場づくり**

### **ア. 地域円卓会議**

地域の課題を共有し資源を持ち寄り持続可能な仕組みをつくることを目的に、「いちはらの未来を考える地域円卓会議～地域課題解決のための、多様な担い手の連携を目指して」を市原市と共催で12月1日に夢ホールで開催しました。メインテーマは「10年後の団地の姿から地域づくりを考える」で、連合自治会会長による論点提供者のほか、学識者、行政、事業者、NPO、メディアのマルチステークホルダーによる着席者の情報提供から、会場全体による意見交換を行いました。

当日は、行政、議員、住民など53名が参加し、10年後、20年後も安心して暮らせるまちになるための、課題や事例を共有する機会となりました。

### **イ. シェア会議**

地域社会の課題について発信する場をつくり、関心層、関わる人を増やすことを目的に「つたえる・つながる・シェア会議～地域社会の課題解決のためにできること～」を12月15日ホテルメイプルイン幕張で開催しました。

当日は23名が参加し、第一部は、NPO法人ウィーズ（事業指定助成プログラム第7期助成団体）理事長光本歩さんより、親の離婚を経験した当時者としての気持ち、現在の支援の課題をお話いただきました。第二部は、地域の「困りごと」を単独あるいは二者間での解決型から、地域全体が協働して解決していく地域円卓会議・コレクティブインパクトの可能性について実践事例を交えながら紹介しました。

### **ウ. 松戸コレクティブインパクト事業「孤育てを防ぎ、子育てを地域で支え合うプロジェクト」（全国コミュニティ財団協会委託事業）**

多様なセクターが枠を越え互いに強みやノウハウを持ち寄り、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変革を推進することを目的とした事業で、全国コミュニティ財団協会から受託し2016年度より実施しています。

今年度は、子育て当事者の声を拾うと同時に、行政を含む支援者等による円卓会議、報告会を実施しました。当事者に情報が届くウェブサイトの立ち上げ、支援者ネットワーク会議の開催、地域での機運醸成のための広報ツール活用を軸にプロジェクトを継続実施していくこととなりました。また、地域型基金立ち上げに向けたプロジェクト実施体制・内容を構築することができました。

## **3. 助成業務等支援事業**

### **(1) 「千葉日報子どもの育ち応援基金」資金助成に関する業務委託（委託事業）**

公益財団法人千葉日報福祉事業団では、子どもの育ちを応援する団体の活動を支援するため、3年間の期限付きで本基金を設立しました。資金助成に関する業務について当財団が受託しました。

今年度は、2019年度助成に係る募集要項・申請書の策定、募集説明会、個別相談、申請受付、選考会・贈呈式の運営等を実施しました。

#### **4. 他機関等との連携**

##### **(1) 一般社団法人全国コミュニティ財団協会**

全国コミュニティ財団協会は、コミュニティ財団の健全な発展を通じて、市民社会のより一層の成熟と市民が主体的に取り組む地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的として設立をしたコミュニティ財団の全国組織です。

当財団は、加盟団体であり、当財団の専務理事・事務局長が協会の理事（非常勤）を務めています。

今年度は、以下の事業に参画しました。

- ・プログラムオフィサー研修参加（佐賀・東近江）
- ・ガイドラインを活用した第三者委員会準備会参加・テスト実施協力
- ・関東甲信越ブロック研修の実施（会員向け・オープンセミナー）
- ・年次大会分科会での報告（コレクティブインパクト事業）
- ・理事会、ブロック長合同会議への参加

##### **(2) 一般社団法人全国レガシーギフト協会**

遺贈寄付、資産寄付への関心が高まりつつある昨今、遺贈寄付が本人の望む最適な形で実現し、寄付した財産が地域の未来資産となり世代を超えて継承される社会を実現するために、全国的な仕組みとして全国レガシーギフト協会が2016年11月に設立されました。当財団は加盟団体として今年度以下の事業に参画しました。

- ・遺贈寄付に関する相談窓口を設置し、対応。相談件数は3件。
- ・土業向け&NPO向け遺贈寄付セミナーを本協会在京5団体共催により開催
- ・遺贈寄付相談員研修への参加

##### **(3) ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク**

本ネットワークは、地域社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を支援するため、主に千葉県内の金融機関5機関と中間支援組織により2017年1月に発足した組織です。

今年度は5月31日に第1回目となるソーシャルビジネスセミナーを開催し、NPO立ち上げや起業を考えている方、起業した方を対象にNPO法人コミュニティワークス理事長の筒井啓介さんより、自身の体験を通じたソーシャルビジネスのあり方についての基調講演をしていただきました。

##### **(4) その他**

- ・事務局長が印西市市民活動推進委員会に年6回出席し、主に企画提案型協働事業の審査にあたりました。
- ・助成申請案件以外にもNPO等からの相談対応を随時行いました。

#### **5. 財団運営活動**

##### **(1) 情報発信・啓発活動**

- ・ホームページ、ブログ、SNSによる情報発信を随時行いました。
- ・年次報告書（カラー16P）を作成し、寄付者や関係者に配布しました。

- ・大学等からの4件の講師依頼を受け、当財団の概要紹介、助成事業の紹介等を行いました。
- ・外部からのヒアリングに随時対応しました。

## (2) 資金調達活動

- ・理事を中心に新規個人や法人に対しての寄付依頼、既存寄付者への依頼並びにシェア会議やウェブサイトを活用して呼びかけを行いました。
- ・冠基金や助成業務契約等の依頼活動ができませんでした。

## (3) 当財団への寄付

- ・継続的に財団運営を応援してもらう仕組みとしてのサポーター登録の呼びかけを実施しています。今年度は新たに銀行口座自動引き落としのシステムを導入し、マンスリーサポーターの募集を強化しました。その結果、サポーターは18名、寄付額は28万円となりました。
- ・その他に、当財団事業運営への寄付として約67万円の寄付を受領しました。
- ・税額控除に係る証明書の有効期間が7月3日までだったことに伴い、再度税額控除に係る証明申請を行い、2018年7月24日から2023年7月23日までの税額控除適用が可能となりました。個人からの寄付は、所得控除または税額控除のいずれかを選ぶことができます。

## 【法人運営（管理）事業】

### 1. 機関会議の運営

#### (1) 評議員会の開催

- ・第1回評議員会（2018年6月23日 書面決議）

第1号議案 2017年度事業報告及び計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）並びに財産目録の承認

第2号議案 理事の選任

#### (2) 理事会の開催

- ・第1回理事会（2018年5月23日18時～21時30分 当財団事務所）

第1号議案 2017年度事業報告の承認

第2号議案 2017年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）並びに財産目録の承認（監査報告）

第3号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等

第4号議案 評議員会に提出する理事名簿の承認

第5号議案 倫理規程について

第6号議案 寄付金取扱規程について

第7号議案 助成等選考委員会設置要綱について

第8号議案 助成等選考会規程について

第9号議案 助成事業等の業務受託基準について

第10号議案 冠基金事業寄付取扱規定について

第11号議案 社会的連帯経済フォーラムちばについて

報告事項 事業の進捗報告

・臨時理事会（2018年6月19日 書面決議）

第1号議案 2018年度定時評議員会決議の省略手続きの承認

第2号議案 目的である事項について

第3号議案 議題に係る提案事項の承認

・臨時理事会（2018年6月30日 書面決議）

第1号議案 理事長の選定

第2号議案 副理事長の選定

第3号議案 専務理事の選定

・第2回理事会（2018年8月27日 10時～12時 当財団事務所）

報告事項 事業進捗報告、「子どもの今と未来を支える基金」助成先について、千葉日報福祉事業団との委託契約について

協議事項 運営資金の調達について

・第3回理事会（2018年11月30日 18時～20時30分 当財団事務所）

第1号議案 公益認定事業変更届について

第2号議案 寄付金取扱規程の改正について

第3号議案 多額の借財（借入れ）の承認

第4号議案 バックオフィス業務委託について

報告事項 事業進捗報告、事業指定助成プログラム第7期助成先について、業務執行理事の職務執行状況の報告、千葉県立入検査

・第4回理事会（2019年3月1日 18時15分～20時15分 当財団事務所）

第1号議案 2019年度役員報酬月額変更の承認

第2号議案 2019年度事業計画及び収支予算書等の承認

報告事項 事業進捗報告、木村理事、伊藤評議員の辞任について、選考委員の再任、職員雇用契約について、業務執行理事の職務執行状況の報告

### （3）監査の実施

- ・監事が全4回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施しました。
- ・2018年5月8日に2017年度の監査を実施し、監査報告書を作成しました。

## 2. 役員に関する事項

### （1）評議員

伊藤昌教評議員は、一身上の都合により3月31日付で辞任されました。

### （2）理事

今年度は改選期であり、6月23日の評議員会において、以下8名の理事が選任されました。

有吉徳洋（再任）、岩永牧人（再任）、木村庸子（再任）、志村はるみ（再任）、関谷昇（再任）、平井晋也（再任）、牧野昌子（再任）、松田浩志（再任）

6月30日の臨時理事会において、理事の中から理事長、副理事長、専務理事を以下の通り選定しました。

理事長（代表理事）	関谷 昇
副理事長	有吉 徳洋
副理事長	牧野 昌子
専務理事	志村 はるみ

### （3）監事

今期中の就任、退任はありません。

## 3. 事務局体制

期首時点では3名（常勤2名、パートタイム1名）が在籍していましたが、4月末に1名が退職しました。

期末時点では2名（常勤1名、パートタイム1名）が在籍しています。

## 4. 寄付者等の情報管理（Donor Relationship Management）

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce社のシステムを利用、データベースの適切な管理と活用を行っています。

Salesforce利用にあたっては、Salesforce社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいます。

※Salesforce：CRMクラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO法人等への無償提供プログラムなどCSRにも積極的に取り組む。<http://www.salesforce.com/jp/>

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金  
2019年度 事業報告書  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

**【2019年度概要と成果】**

- ・ 2019年度は、台風や豪雨、年度末には新型コロナウイルス感染拡大など、大きな災害に見舞われた年となりました。そのような中、迅速に災害支援基金を設置し、全国の被災地を応援したい人の受け皿となり、被災者支援に取り組む組織へ助成ができたことは、寄付者とNPO、被災者とNPOのつなぎ役としての機能を果たすことができたと考えます。また、被災者・被災地のニーズを把握し、適切に助成を実施していく取り組みが評価され、大口の寄付をお預かりすることにつながりました。災害時の対応、特設サイト構築等については、全国コミュニティ財団協会の全面協力をいただきました。
- ・ 財政面では特に運営のための資金調達に課題が残ります。今後は事業収入、助成金、寄付、サポーターの獲得、包括的な支援プログラム・事業の設計をした上での資金調達を進めていきます。

**【公益目的事業：公益活動支援助成事業】**

**1. 助成事業**

**(1) 事業指定助成プログラム**

事業計画に基づき、6月より随時公募を行いました。応募した1団体に対して、10月、11月の2回、ビジョン、ミッション策定等の研修を実施し、寄付募集については見送りました。

**(2) テーマ・地域型基金**

**ア. 子どもの今と未来を支える基金（継続）**

未来を担う子どもたちが健やかに育つ地域社会をつくるために当財団が設置したプログラムで、リーフレットやウェブサイトを活用し個人寄付や寄付付き商品による寄付を募りました。助成は実施していません。

2018年度助成団体のうち、事業の変更があったため一部助成金の返還があり、基金に戻し入れました。

**イ. まつど子育てささえあい基金（新規）**

「まつどでつながるプロジェクト」の活動をもとに、松戸市の親子の孤立を予防、制度の狭間にいる人に対する民間の取り組みを支援するための基金を設置し、リーフレットやウェブサイトを活用し、寄付を募りました。助成は実施していません。

**ウ. 2019千葉県台風・豪雨災害支援基金（新規）**

9月、10月の台風15号、19号、10月豪雨による千葉県内の被災地における支援活動を支えるための基金を設置しました。ウェブサイトやチラシを活用し、全国からの寄付を受け付け、3月末時点で20事業に助成を実施しました。

・助成先：

団体名・所在地	主な活動地域	活動内容	助成金額
特定非営利活動法人ディーブデモクラシー・センター（鴨川市）	千葉県南部	台風15号被災地域安房7市町でのブルーシートのかかけ直し、倒木処理、生活相談などの支援活動と技術支援者養成	100,000円
特定非営利活動法人災害救援レスキューアシスト（鴨川市）	鴨川市	茅葺き屋根の被災家屋技術支援活動	100,000円
特定非営利活動法人光と風（旭市）	旭市	旭市内の復旧・復興の取材調査と「復興かわら版」発行	80,000円
nigiwai（にぎわい）（富津市）	富津市	子ども・母親視点での避難所の環境改善調査と「避難所キット」作成配布支援	100,000円
富山地区若者地域団体 i.PLANNER（南房総市）	南房総市	長期化する屋根の補修までの代用としてアシスト瓦を地域の人たちとつくる活動	100,000円
特定非営利活動法人おせつ会（館山市）	館山市	台風19号で破損したブルーシートの張替えに強度を持たせるため、必要な資材（金具、木材）を購入し、屋根の補修までの救済支援をする	100,000円
災害ボランティア団体らしんばん（佐倉市）	佐倉市・八街市	台風や大雨で被害を受けた地域の緊急復旧支援活動	100,000円
特定非営利活動法人千葉自然学校（千葉市）	南房総市	南房総市富浦町のびわ山・畑の復旧支援活動とボランティアコーディネート	100,000円
特定非営利活動法人たてやま・海辺の鑑定団（館山市）	館山市	「里海博2019」開催に合わせ台風15号による沖ノ島の被災状況を伝える写真展を開催する	100,000円
つなぐCHIBAプロジェクト（千葉市）	千葉県中南部	千葉南部の復旧・復興に向けた支援・交流促進と支援団体情報共有会議等の運営支援	100,000円
ボランティアグループB3（南房総市）	鋸南町	在宅避難者の生活支援（物資配布、炊き出し）と孤立防止のためのサロン開催	100,000円
ボランティアグループ Laugh and Happiness（千葉市）	富津市	災害被災地でのマッサージ等のコーディネート・復興イベント開催等、人々の心のケアを主とする活動	100,000円
災害ボランティア団体らしんばん（佐倉市）	佐倉市・八街市・富津市	倒木の伐採ボランティアを実施するための伐採等業務（チェーンソー）特別教育の開催	100,000円
柏の葉サイエンスエデュケーションラボ（柏市）	勝浦市	勝浦市北部において地元子ども達へ出張科学館事業「道の理科室」を実施する。	100,000円
もばら街育プロジェクト（茂原市）	茂原市	「Charity NEGI Matsuri（チャリティねぎまつり）」に合わせた台風15号・19号及び10.25豪雨災害で被害を受けた農業生産者の被災状況を伝える写真展の開催	100,000円
ボランティアグループB3（南房総市）	鋸南町	被災者救済のための生活支援、相談実施とボランティアコーディネート、スキルアップ学習会の開催	98,000円
飯岡まちおこし実行委員会（旭市）	旭市	台風被害の旭市民活力再生のため、音楽愛好家（老若男女障がい者）と共に音楽を通して復興活動を実施する「復興祈願音楽ライブ」の開催	100,000円

富津のまちづくりを考える会（富津市）	富津市	災害体験を記録に残し、この経験を今後の災害にも活かすために「富津の台風体験集」を作成する	100,000 円
千葉ボラサポート（南房総市）	南房総市	台風 15 号、19 号による被災者のための災害復興支援活動 ブルーシート再展張等資材保管のための倉庫建設	100,000 円
特定非営利活動法人 NPO 富里のホタル（富里市）	富里市	2019 台風・豪雨被害からの里山再生プロジェクト	100,000 円

・災害発生から当法人の取り組みとして、発災直後から NPO、自治体、社協にヒアリングを実施、支援関係者情報共有会や報告会にも参加し、被災地のニーズ把握、情報収集を行いました。それらをもとに、災害復旧活動、復興活動を支える災害支援基金の創設、災害支援ニーズに対応するための助成事業の実施、その他物資仲介、活動団体間の情報仲介の実施を行いました。（現地訪問 6 回、情報共有会参加 5 回）

### （3）冠基金プログラム

#### ア. さくら基金（継続）

児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが不安を抱えることなく、自立した生活を送ることができるように、支援団体が実施するキャリア支援事業やアフターケア事業などに活用される基金であり、今年度は寄付募集とプログラム企画立案のためのヒアリングを行いました。

#### イ. 中央ろうきん 2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金（新規）

中央労働金庫、中央労働金庫労働組合からの寄付を原資に「中央ろうきん 2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金（特別枠）」を設け、公募、選考を経て、被災地支援活動 5 事業に助成を実施しました。

団体名・所在地	主な活動地域	活動内容	助成金額
特定非営利活動法人ディーブデモクラシー・センター（鴨川市）	富津市・鋸南町	地域のニーズを把握し、長期化する支援のあり方を構築するための集落全戸調査事業	200,000 円
つなぐ CHIBA プロジェクト（千葉市）	南房総市市・鴨川市	被災者と支援者をつなぐ「ボランティアバス」の運行	200,000 円
災害ボランティア団体らしんばん（佐倉市）	千葉県南部	千葉県南部における継続的な災害復興支援ボランティア事業	200,000 円
ボランティアグループ B3（南房総市）	鋸南町	被災者支援とボランティア研修のための専門講師招致事業	200,000 円
特定非営利活動法人おせっ会（館山市）	館山市	おせっ会復興事業ボランティア参加者負担軽減	100,000 円

## 2. 資源仲介事業

公益活動を支援したい個人、企業、団体等からの資金以外の各種資源（人材、物品、情報など）を市民公益活動団体に仲介する事業であり、今年度は以下の事業を行ないました。

### （1）多様な寄付の機会の提供

- ・寄付付き自動販売機（支援バンダー）：新規設置 1 台（合計 7 台）
- ・買取寄付プログラム「カイトリ」：実績なし
- ・ブックオフオンライン・ボランティア宅本便：寄付件数 4 件（本プログラムは 3 月末日をもって終了）

- ・使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置：8ヶ所

これらの寄付金は公益目的事業運営として一般寄付金になります。

- ・募金箱の設置：1ヶ所

- ・寄付付き商品：認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所（茨城県）発行の英単語カレンダー、ひらがなれんしゅうちょう等をパルシステム千葉、生活クラブ生協の組合員向けに販売しました。

これらの寄付金は「子どもの今と未来を支える基金」への寄付になります。

## **(2) 情報共有の場づくり**

### **ア. 助成事業成果報告会**

12月14日、「ちばのWA助成事業成果報告会&交流会 2019」を開催しました。

2018年度「子どもの今と未来を支える基金」助成団体である、NPO法人Art for Children's SHINE、NPO法人ほっとすペース・つき、松戸市10代向け情報発信・調査研究プロジェクトの3団体と事業指定助成プログラム助成団体である、NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばが助成事業成果報告を行いました。また、当財団からは「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」の助成状況について報告を行いました。

一人一人の寄付金が地域でどのように活かされているのか考える機会となりました。

### **イ. 松戸コレクティブインパクト事業「孤育てを防ぎ、子育てを地域で支え合うプロジェクト」**

多様なセクターが枠を越え互いに強みやノウハウを持ち寄り、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変革を推進することを目的とした事業で、2016年度より実施しています。

今年度は、当事者に情報が届くウェブサイト「つながるリンク」の開設、行政を含む支援者等による円卓会議、報告会を実施しました。

## **3. 助成業務等支援事業**

### **(1) 「千葉日報子どもの育ち応援基金」資金助成に関する業務委託（受託事業）**

公益財団法人千葉日報福祉事業団では、子どもの育ちを応援する団体の活動を支援するため、2018年度、3年間の期限付きで本基金を設立しました。資金助成に関する業務について当財団が受託しています。

今年度は、2020年度助成に係る募集要項・申請書の策定、県内3か所での募集説明会、個別相談、申請受付、選考会の運営等を実施しました。3月に予定していた贈呈式は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

## **4. 他機関等との連携**

### **(1) 一般社団法人全国コミュニティ財団協会**

全国コミュニティ財団協会は、コミュニティ財団の健全な発展を通じて、市民社会のより一層の成熟と市民が主体的に取り組む地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的として設立をしたコミュニティ財団の全国組織です。

当財団は、加盟団体であり、当財団の専務理事・事務局長が協会の理事（非常勤）を務めています。

今年度は、以下の事業に参画しました。

- ・年次大会分科会での報告（災害時における現場のニーズに即して支援金を仲介する役割を果たせるか）
- ・理事会への参加

また、今年度は災害時の対応、特設サイト構築、寄付募集等について、全面協力をいただきました。

## (2) 一般社団法人全国レガシーギフト協会

遺贈寄付、資産寄付への関心が高まりつつある昨今、遺贈寄付が本人の望む最適な形で実現し、寄付した財産が地域の未来資産となり世代を超えて継承される社会を実現するために、全国的な仕組みとして全国レガシーギフト協会が2016年11月に設立されました。当財団は加盟団体として今年度以下の事業に参画しました。

- ・遺贈寄付に関する相談窓口を設置し、対応。相談件数は1件。
- ・土業向け&NPO向け遺贈寄付セミナーを本協会在京5団体共催により開催
- ・遺贈寄付相談員研修への参加

## (3) ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク

本ネットワークは、地域社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を支援するため、主に千葉県内の金融機関5機関と中間支援組織により2017年1月に発足した組織です。

今年度は10月18日にソーシャルビジネス事業者、創業を検討している方を対象に相談会を開催し、6件の相談に対応しました。

## (4) 一般財団法人非営利組織評価センター「併走支援委託事業」(受託事業)

NPO等市民公益活動団体の信頼性と透明性の向上を図り社会と共有することで、より充実した支援環境を構築することを目的として非営利組織評価センターと協働し、組織評価・認証制度の普及促進を図りました。9月25日に「NPOのための助成金活用セミナー&第三者組織評価制度説明会」を開催、12名の参加がありました。第三者組織評価のコーディネーターは1団体でした。

## (5) その他

### ア. 啓発事業・講師派遣

- ・NPO支援の税理士ネットワーク主催の勉強会にて、公益認定申請実務について事例紹介をしました。
- ・うらやす市民大学「事例に学ぶ市民活動」全4回(10/3~11/21)をコーディネートしました。
- ・つながる経済フォーラム千葉世話人会主催「第1回つながる経済フォーラム in 千葉」のリレートークに登壇し、事例報告をしました。

### イ. 他機関との連携協働

- ・事務局長が印西市市民活動推進委員会に年6回出席し、主に企画提案型協働事業の審査にあたりました。
- ・被災地で使用したブルーシートでトートバッグ(ブルーシードバッグ)をつくり、ゴミの削減と被災地支援につなげるプロジェクト「BRIDGE CHIBAプロジェクト」にプロジェクトメンバーとして参画しました。メンバーは千葉テレビ放送、グローリア、LOVES COMPANY、ちばぎんハートフル、ちばのWA地域づくり基金。寄付金は「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」を通じて被災地支援活動に助成の予定です。
- ・千葉県内の支援組織、自治体との情報共有を図ることを目的に、千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議(千葉県主催)に加盟し、ネットワーク会議に参加しました。

### ウ. その他

- ・助成申請案件以外にも NPO 等からの相談対応を随時行いました。

## 5. 財団運営活動

### (1) 情報発信・啓発活動

- ・ホームページ、ブログ、SNS による情報発信を随時行いました。
- ・外部からのヒアリング、視察に随時対応しました。

### (2) 資金調達活動

- ・理事を中心に新規個人や法人に対しての寄付依頼、既存寄付者への依頼並びにシェア会議やウェブサイトを活用して呼びかけを行いました。
- ・冠基金や助成業務契約等の依頼活動ができませんでした。

### (3) 当財団への寄付

- ・継続的に財団運営を応援してもらう仕組みとしてのサポーター登録の呼びかけを実施しています。今年度は新たに銀行口座自動引き落としのシステムを導入し、マンスリーサポーターの募集を強化しました。その結果、サポーターは 15 名、寄付額は 32 万円となりました。
- ・その他に、当財団事業運営への寄付として約 317 万円の寄付を受領しました。

## 【法人運営（管理）事業】

### 1. 機関会議の運営

#### (1) 評議員会の開催

- ・第 1 回評議員会（2019 年 6 月 13 日 18 時～19 時 35 分 千葉市生涯学習センター）

第 1 号議案 2018 年度事業報告及び附属明細書の承認

第 2 号議案 2018 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認  
第 1 号議案 2018 年度事業報告及び計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）並びに財産目録の承認

報告事項 2019 年度事業計画及び予算について、役員の変更について

#### (2) 理事会の開催

今年度は、9 月 13 日に開催予定だった第 2 回理事会が台風被害対応のため中止となりました。そのため、定例理事会は 3 回、臨時理事会（みなし会議）を 3 回開催しました。

- ・第 1 回理事会（2019 年 5 月 22 日 18 時～22 時 当財団事務所）

第 1 号議案 2018 年度事業報告及び附属明細書の承認

第 2 号議案 2018 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認（監査報告）

第 3 号議案 評議員会の招集

第 4 号議案 「まつどでつながる基金」設置の提案

- 第5号議案 事業指定助成公募について
- 第6号議案 さくら基金公募について
- 第7号議案 休眠預金資金分配団体公募について
- 第8号議案 諸規程の改定及び制定について
- 第9号議案 (一財) 非営利組織評価センター「併走支援委託事業」受託について
- 第10号議案 報告書未提出団体の対応について
- 報告事項 「監事監査規程」について、助成業務等支援事業(千葉日報福祉事業団)事業報告
- ・臨時理事会(2019年7月5日 書面決議)
  - 第1号議案 「子どもの今と未来を支える基金2018年度助成」助成金返金通知に係る件について
- ・臨時理事会(2019年11月29日 書面決議)
  - 第1号議案 中央労働金庫、中央労働金庫労働組合による冠基金寄付の受理と設置の承認について
- ・第2回理事会(2019年12月14日 10時10分～12時10分 多世代交流拠点おおなみこなみ)
  - 第1号議案 諸規程の制定について
  - 第2号議案 2019千葉県台風・豪雨災害支援基金について
  - 第3号議案 今年度事業進捗、運営状況と次年度事業について
- ・臨時理事会(2020年2月20日 書面決議)
  - 第1号議案 冠基金「中央ろうきん2019千葉県台風・豪雨災害支援基金(特別枠)」について、同選考会の選定報告に基づき4団体に総額80万円を助成することの承認について
- ・第3回理事会(2020年3月13日 18時10分～21時15分 当財団事務所)
  - 第1号議案 2020年度事業計画及び収支予算書等について
  - 第2号議案 公益事業区分の追加(変更申請)について
  - 第3号議案 定款変更について(評議員会決議)
  - 第4号議案 諸規程の制定及び改定について
  - 第5号議案 「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」助成について
  - 第6号議案 今年度事業進捗、運営状況について

### (3) 監査の実施

- ・監事が全3回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施しました。
- ・2019年5月8日に2018年度の監査を実施し、監査報告書を作成しました。

## 2. 役員に関する事項

### (1) 評議員

今期中の就任、退任はありません。

### (2) 理事

木村庸子理事は、一身上の都合により6月18日付で辞任されました。

### (3) 監事

今期中の就任、退任はありません。

### 3. 事務局体制

昨年度と同様、2名（常勤1名、パートタイム1名）が在籍しています。

### 4. 寄付者等の情報管理（Donor Relationship Management）

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce社のシステムを利用、データベースの適切な管理と活用を行っています。

Salesforce利用にあたっては、Salesforce社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいます。

※Salesforce：CRMクラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO法人等への無償提供プログラムなどCSRにも積極的に取り組む。<http://www.salesforce.com/jp/>

# 監査報告書

平成30年5月23日

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金  
理事長 関谷 昇 様

監事 内山 真義  
同 豊岡 正弘

私たちは、平成30年5月8日、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金事務所において、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき、本法人が作成した平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度に係る定款第9条第1項各号に掲げる事業報告書及び計算書類に対し監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査方法及び内容

私たちは理事会に出席するほか、必要に応じ理事長及び理事に対して説明を求め、重要な書類等を閲覧するなどして業務の執行状況を調査しました。

また、財務の状況については会計帳簿や証憑書類の照合、担当者への質問等合理的な保証を得るための手続きを行いました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告書

①事業報告書及びその付属明細書は法令及び定款に従い適正に表示されているものと認めます。

②理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類

会計処理は我が国において一般に公正妥当と認められる会計原則及び公益法人会計基準に則り適正に処理されており、計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は真実な内容を明瞭に表示しているものと認めます。

以上

## 監査意見

2018年5月8日、実施した監査について、下記のとおり、監事監査意見を示します。

1. 業務監査については、事務負担の軽減について、これまでも検討してきましたが、資金調達が計画通り達成できず、依然として専務理事一人の負担に頼っている現状があります。従って、改めて業務の合理化、簡素化等を目指し、併せて、速やかな事務処理を促進するための諸規程の整備が必要だと思えます。

### 2. 事業報告書と財務諸表の結び付きについて

事業報告書と財務諸表は一体のものだ、との認識を改めて確認していただき、事業報告で記載した数値については、財務諸表においても連動して表記されていなければなりません。現状では、部分的に事業報告書と財務諸表が結びついていない個所が見られますので、次年度において改善して下さい。

### 3. 財務諸表の注記について

財務諸表の注記は公益法人会計基準において、重要な財務諸表附属書類と位置づけられています。貸借対照表および正味財産増減計算書において表示仕切れない内容や、寄附者をはじめ当該法人の関係者が知りたいと思われる事項を整理認識し、その明細を表や言葉として記載することを心がけましょう。

現在の注記は特定資産等一部の内容を記載するにとどまっています。前年度比較で変動の激しい事項、資金提供者がその顛末を知りたいだろうと思われる事項について、その説明に注記を利用することが必要です。

以上

## 財産目録

2018年3月31日現在(決算)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【流動資産の部】</b>				
	現金	手元保管	運転資金として	14,831
	預金	普通預金 ゆうちょ銀行058店5474190	運転資金として	349,332
	商品	事務局	チャリティTシャツ39枚	42,315
	未収金		全国コミュニティ財団協会旅費交通費	51,116
<b>流動資産合計</b>				<b>457,594</b>
<b>【固定資産の部】</b>				
基本財産	定期預金 預金	千葉信用金庫花園支店0333132	設立時資産、運用益を公益目的事業に充てる	3,000,000
特定資産		普通預金 ゆうちょ銀行058店5474190	公益目的1 公益活動支援助成事業のため	1,067,826
		千葉銀行真砂支店3600675	公益目的1 公益活動支援助成事業のため	186,641
		千葉銀行真砂支店3600683	公益目的1 公益活動支援助成事業のため	20,702
		千葉銀行真砂支店3600691	公益目的1 公益活動支援助成事業のため	711,824
		千葉銀行真砂支店3600705	公益目的1 公益活動支援助成事業のため	500,000
		千葉信用金庫花園支店0699918	公益目的1 公益活動支援助成事業のため	120,535
その他固定資産	敷金	郵便振替口座 00140 7 570808 千葉市中央区春日1 20 15篠原ビル301	事務所の敷金として	120,000
<b>固定資産合計</b>				<b>5,767,574</b>
<b>資産合計</b>				<b>6,225,168</b>
<b>【流動負債の部】</b>				
	未払金 預り金		給与(3月分)	404,750
			源泉税、年金保険料	57,641
<b>流動負債合計</b>				<b>462,391</b>
<b>【固定負債の部】</b>				
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>
<b>負債合計</b>				<b>462,391</b>
<b>【正味財産の部】</b>				
指定正味財産				5,647,574
一般正味財産				115,203
<b>正味財産合計</b>				<b>5,762,777</b>
<b>負債・正味財産合計</b>				<b>6,225,168</b>

## 財務諸表に対する注記

### 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

#### 1. 重要な会計方針

##### (1) 会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

##### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### 2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・個別法に基づく評価によっている。

#### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
定期預金	3 000 000	0	0	3 000 000
小計	3 000 000	0	0	3 000 000
<b>特定資産</b>				
受取民間助成金	0	0	0	0
受取寄付金	2 160 265	1 321 309	834 000	2 647 574
事業指定プログラム	0	77 000	77 000	0
テーマ型プログラム	1 586 643	744 309	757 000	1 573 952
冠ファンド	0	500 000	0	500 000
財団運営寄付	573 622	0	0	573 622
小計	2 160 265	1 321 309	834 000	2 647 574
合計	5 160 265	1 321 309	834 000	5 647 574

#### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
定期預金	3 000 000	3 000 000	0	0
小計	3 000 000	3 000 000	0	0
<b>特定資産</b>				
受取民間助成金	0	0	0	0
受取寄付金	2 647 574	2 647 574	0	0
事業指定プログラム	0	0	0	0
テーマ型プログラム	1 573 952	1 573 952	0	0
冠ファンド	500 000	500 000	0	0
財団運営寄付	573 622	573 622	0	0
小計	2 647 574	2 647 574	0	0
合計	5 647 574	5 647 574	0	0

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳並びに指定正味財産の内訳及びその残高

当期指定正味財産期末残高の内訳は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期一般正味財産振替額	当期末残高
受取寄付金				
事業指定助成プログラム(6期)	0	77 000	77 000	0
テーマ型プログラム寄付金(子どもの今と未来を支える基金)	1 586 643	587 309	600 000	1 573 952
テーマ型プログラム寄付(九州豪雨災害)	0	157 000	157 000	0
冠ファンド・褒章プログラム寄付金	0	500 000	0	500 000
財団運営寄付	573 622	0	0	573 622
基本財産	3 000 000	0	0	3 000 000
合計	5 160 265	1 321 309	834 000	5 647 574

6. 支払助成金の内訳

当期支払助成金の内訳は、次のとおりである。

科目	団体名	助成額
事業指定プログラム第6期	NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば	61 600
九州豪雨災害募金	朝倉災害母子支援センターきずな	157 000
子どもの今と未来を支える基金	NPO法人ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク	200 000
	NPO法人ウィーズ	200 000
	NPO法人カフェバルコニーの家	200 000
合計		818 600

## 2017年度正味財産増減計算書

2017年4月1日から2018年3月31日(決算)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	840	842	△ 2
基本財産受取利息	840	842	△ 2
事業収益	3,914,920	5,510,000	△ 1,595,080
情報発信・啓発事業	35,000	0,000	25,000
チャリティ事業	4,000	0	4,000
研修事業	65,920	0	65,920
基金運営委託費	0	400,000	△ 400,000
コレクティブインパクトモデル事業委託費	3,000	5,000	△ 990,000
遺贈寄付促進事業委託費	700,000	0	700,000
受取補助金等	0	1,600,000	△ 1,600,000
受取補助金等振替額	0	600,000	△ 600,000
受取寄付金	1,731,038	5,469,029	△ 3,737,991
受取寄付金	897,038	589,704	307,334
受取寄付金振替額	834,000	4,879,325	△ 4,045,325
雑収益	30	188	△ 158
受取利息	30	88	△ 58
<b>経常収益合計</b>	<b>5,646,828</b>	<b>12,580,059</b>	<b>△ 6,933,231</b>
(2) 経常費用			
事業費	8,393,945	8,903,030	△ 509,085
役員報酬	960,000	960,000	0
給料手当	34,940	8,600	2,603,400
福利厚生費	38,243	0	38,243
会議費	29,646	54,998	△ 25,352
旅費交通費	489,657	56,566	△ 7,859
通信運搬費	38,374	3,556	65,888
消耗品費	499,435	37,699	36,736
印刷製本費	99,922	256,488	△ 56,566
チャリティ事業支出	2,700	0	2,700
光熱水費	76,508	0	76,508
賃借料	485,680	0	485,680
諸謝金	70,000	2,300	△ 43,000
租税公課	6,200	0,600	△ 4,400
支払負担金	4,206	7,073	△ 2,867
支払助成金	8,860	4,408,260	△ 3,589,660
研修費	6,000	5,840	△ 45,840
委託費	574,420	0,000	△ 425,580
雑費	22,484	0	22,484
管理費	732,949	632,724	100,225
役員報酬	240,000	240,000	0
給料手当	0	20,000	△ 20,000
福利厚生費	6,877	0	6,877
会議費	2,500	7,373	△ 5,223
旅費交通費	27,296	36,206	△ 8,910
通信運搬費	38,730	46,336	△ 7,606
消耗什器備品費	50,965	0	50,965
消耗品費	67,677	0	67,677
印刷製本費	0,499	0	0,499
光熱水費	8,498	0	8,498
賃借料	2,420	20,000	420
租税公課	5,700	670	4,030
諸会費	50,000	50,000	0
支払負担金	65,900	432	65,468
雑費	7,933	707	7,226
<b>経常費用合計</b>	<b>9,126,894</b>	<b>9,535,754</b>	<b>△ 408,860</b>
評価損益等調整前当期経常増減額			0
基本財産評価損益等			0
特定資産評価損益等			0
投資有価証券評価損益等			0
評価損益等計			0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 3,480,066</b>	<b>3,044,305</b>	<b>△ 6,524,371</b>

<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,480,066	3,044,305	△ 6,524,37
一般正味財産期首残高	3,595,269	550,964	3,044,305
一般正味財産期末残高	5,203	3,595,269	△ 3,480,066
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0
受取寄付金等	32,309	38,772	△ 2,496,4
事業運営への寄付	0	573,622	△ 573,622
事業指定プログラムへの寄付金	77,000	443,755	△ 366,755
テーマ型プログラムへの寄付金	744,309	800,343	△ 56,034
冠ファンドへの寄付金	500,000	2,000,000	△ 500,000
一般正味財産への振替額	834,000	6,479,325	△ 5,645,325
当期指定正味財産増減額	487,309	△ 2,66,605	3,489,4
指定正味財産期首残高	5,602,65	7,82,870	△ 2,66,605
指定正味財産期末残高	5,647,574	5,602,65	487,309
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>5,762,777</b>	<b>8,755,534</b>	<b>△ 2,992,757</b>

## 貸借対照表

2018年3月31日現在(決算)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	364,163	3,739,386	△ 3,375,223
未収金	51,116	1,976	49,140
商品	42,315	44,485	△ 2,170
流動資産合計	457,594	3,785,847	△ 3,328,253
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
子どもの今と未来を支える基金	1,573,952	1,586,643	△ 12,691
さくら基金(冠基金)	500,000	0	500,000
財団運営寄付	573,622	573,622	0
特定資産合計	2,647,574	2,160,265	487,309
(3)その他固定資産			
敷金	120,000	0	120,000
その他固定資産合計	120,000	0	120,000
固定資産合計	5,767,574	5,160,265	607,309
資産合計	6,225,168	8,946,112	△ 2,720,944
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	404,750	178,000	226,750
預り金	57,641	12,578	45,063
流動負債合計	462,391	190,578	271,813
負債合計	462,391	190,578	271,813
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	5,647,574	5,160,265	487,309
指定正味財産合計	5,647,574	5,160,265	487,309
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,647,574)	(2,160,265)	△ 487,309
2. 一般正味財産	115,203	3,595,269	△ 3,480,066
正味財産合計	5,762,777	8,755,534	△ 2,992,757
負債及び正味財産合計	6,225,168	8,946,112	△ 2,720,944

# 監査報告書

2019年5月8日

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金  
理事長 関谷 昇 様

監事 内山 真義  
同 豊岡 正弘

私たちは、2019年5月8日、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金事務所において、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき、本法人が作成した2018年4月1日から2019年3月31日までの事業年度に係る定款第9条第1項各号に掲げる事業報告書及び計算書類に対し監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査方法及び内容

私たちは理事会に出席するほか、必要に応じ理事長及び理事に対して説明を求め、重要な書類等を閲覧するなどして業務の執行状況を調査しました。

また、財務の状況については会計帳簿や証憑書類の照合、担当者への質問等合理的な保証を得るための手続きを行いました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告書

①事業報告書及びその付属明細書は法令及び定款に従い適正に表示されているものと認めます。

②理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類

会計処理は我が国において一般に公正妥当と認められる会計原則及び公益法人会計基準に則り適正に処理されており、計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は真実な内容を明瞭に表示しているものと認めます。

以上

## 監査意見

2019年(令和元年)5月8日、実施した監査について、下記のとおり、監事監査意見を示します。

1. 【新規】評議員会、理事会で「書面決議」がありますが、やむを得ない場合を除き、書面決議は避けるべきだと思います。特に法人事業目的に係る審議事項については、役員間での意見交換と方針の共有が必要なものもあることから、できるだけ日程を調整して開催するようにして下さい。

2. 【新規】「業務執行理事ミーティング」については、正式な機関ではないことから、法人の事業及び運営に係る事項について協議した場合は理事会に上程するよう心がけて下さい。

3. 【継続】 業務監査については、事務負担の軽減について、これまでも検討してきましたが、資金調達が計画通り達成できず、依然として専務理事一人の負担に頼っている現状があります。従って、改めて業務の合理化、簡素化等を目指し、併せて、速やかな事務処理を促進するための諸規程の整備が必要です。

4. 【削除】 事業報告書と財務諸表の結び付きについて

今期は事業別収支一覧表を作成するなど、事業報告書と財務諸表のつながりが明確になりました。

5. 【削除】 財務諸表の注記について

前期において指摘したとおり、財務諸表で表記できない部分がある場合で、必要な内容については注記によって表示することが求められますが、今期は前記2. で記述したとおり、注記の充実が認められます。

以上

## 財産目録

2019年3月31日現在(決算)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【流動資産の部】</b>				
	現金 預金	手元保管	運転資金として	5,456
		普通預金		
		ゆうちょ銀行058店	運転資金として	439,303
		千葉銀行真砂支店	運転資金として	847,841
	前払費用	千葉信用金庫花園支店	運転資金として	3,267
当座預金 郵便振替口座		運転資金として	237,611	
		給与計算ソフト4月分	2,570	
流動資産合計				1,536,048
<b>【固定資産の部】</b>				
基本財産	定期預金	千葉信用金庫花園支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	3,000,000
特定資産	預金	普通預金		
		千葉銀行真砂支店	公1 助成事業(事業指定助成プログラム)の資産として管理	288,500
		千葉銀行真砂支店	公1 助成事業(子どもの今と未来を支える基金)の資産として管理	274,446
その他固定資産	敷金	千葉銀行真砂支店	公1 助成事業(さくら基金)の資産として管理	550,000
		千葉市中央区春日1-20-15篠原ビル301	事務所の敷金として	120,000
固定資産合計				4,232,946
資産合計				5,768,994
<b>【流動負債の部】</b>				
	預り金		職員 源泉所得税給与1~3月分	9,360
	預り金		職員 社会保険料3月分	29,760
流動負債合計				39,120
<b>【固定負債の部】</b>				
	長期借入金	個人	運転資金として	1,000,000
固定負債合計				1,000,000
負債合計				1,039,120
<b>【正味財産の部】</b>				
	指定正味財産			4,112,946
	一般正味財産			616,928
正味財産合計				4,729,874
負債・正味財産合計				5,768,994

財務諸表に対する注記

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

最新の「公益法人会計基準」を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(3) 経理処理変更の件

今期より給与の経理処理を発生主義から現金主義に変更した。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
受取民間助成金	0	0	0	0
受取寄付金	2,647,574	612,946	2,147,574	1,112,946
事業指定プログラム	0	288,500	0	288,500
テーマ型プログラム	1,573,952	274,446	1,573,952	274,446
冠ファンド	500,000	50,000	0	550,000
財団運営寄付	573,622	0	573,622	0
小計	2,647,574	612,946	2,147,574	1,112,946
合計	5,647,574	612,946	2,147,574	4,112,946

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
受取民間助成金	0	(0)	(0)	(0)
受取寄付金	1,112,946	(1,112,946)	(0)	(0)
事業指定プログラム	288,500	(288,500)	(0)	(0)
テーマ型プログラム	274,446	(274,446)	(0)	(0)
冠ファンド	550,000	(550,000)	(0)	(0)
財団運営寄付	0	(0)	(0)	(0)
小計	1,112,946	(1,112,946)	(0)	(0)
合計	4,112,946	(4,112,946)	(0)	(0)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳並びに指定正味財産の内訳及びその残高

当期指定正味財産期末残高の内訳は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期一般正味財産振替額	当期末残高
受取寄付金				
事業指定助成プログラム	0	288,500	0	288,500
テーマ型プログラム寄付金 (子どもの今と未来を支える基金)	1,573,952	274,446	1,573,952	274,446
冠ファンド・褒章プログラム寄付金(さくら基金)	500,000	50,000	0	550,000
財団運営寄付	573,622	0	573,622	0
基本財産	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	5,647,574	612,946	2,147,574	4,112,946

5. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の業務等	事業上の関係				
役員等	個人	—	—	NPO法人の代表理事	—	—	当法人の役員	資金借入	1,000,000	長期借入金	1,000,000

(注)取引条件及び取引条件の決定方針等

長期借入金については、返済期日2023年9月17日、無利子、期日までに一括返済の旨決定している。なお、担保は提供していない。

6. その他

期首商品在庫42,315円については廃棄により当期末には存在しない。棚卸減耗に関しては公益目的事業会計雑費として計上している。

**2018年度正味財産増減計算書**  
2018年4月1日から2019年3月31日（決算）

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	840	840	0
基本財産受取利息	840	840	0
事業収益	4,334,368	3,914,920	419,448
情報発信・啓発事業	82,800	35,000	47,800
チャリティ事業	191,568	4,000	187,568
研修事業	0	65,920	△ 65,920
基金運営委託費	700,000	0	700,000
コレクティブインパクトモデル事業委託費	3,360,000	3,110,000	250,000
遺贈寄付促進事業委託費	0	700,000	△ 700,000
受取補助金等	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0
受取寄付金	3,095,638	1,731,038	1,364,600
受取寄付金	948,064	897,038	51,026
受取寄付金振替額	2,147,574	834,000	1,313,574
雑収益	14	30	△ 16
受取利息	14	30	△ 16
<b>経常収益合計</b>	<b>7,430,860</b>	<b>5,646,828</b>	<b>1,784,032</b>
（2）経常費用			
事業費	6,525,818	8,393,945	△ 1,868,127
役員報酬	733,600	960,000	△ 226,400
給料手当	1,444,550	3,419,400	△ 1,974,850
福利厚生費	438,027	138,243	299,784
会議費	147,968	129,646	18,322
旅費交通費	277,038	489,657	△ 212,619
通信運搬費	395,461	381,374	14,087
消耗什器備品費	125,000	0	125,000
消耗品費	111,450	499,435	△ 387,985
印刷製本費	269,029	199,922	69,107
チャリティ事業支出	332,004	2,170	329,834
光熱水費	83,813	76,508	7,305
賃借料	576,000	485,680	90,320
諸謝金	60,000	170,000	△ 110,000
租税公課	2,000	6,200	△ 4,200
支払負担金	17,703	14,206	3,497
支払助成金	1,000,000	818,600	181,400
研修費	10,100	6,000	4,100
委託費	420,000	574,420	△ 154,420
雑費	82,075	22,484	59,591
管理費	403,317	732,949	△ 329,632
役員報酬	183,400	240,000	△ 56,600
福利厚生費	0	16,187	△ 16,187
委託費	0	12,150	△ 12,150
旅費交通費	656	27,296	△ 26,640
通信運搬費	6,162	38,730	△ 32,568
消耗什器備品費	0	50,965	△ 50,965
消耗品費	991	67,671	△ 66,680
印刷製本費	4,672	10,499	△ 5,827
光熱水費	9,304	8,498	806
賃借料	144,000	121,420	22,580
租税公課	3,100	5,700	△ 2,600
諸会費	50,000	50,000	0
支払負担金	432	65,900	△ 65,468
雑費	600	17,933	△ 17,333
<b>経常費用合計</b>	<b>6,929,135</b>	<b>9,126,894</b>	<b>△ 2,197,759</b>
評価損益等調整前当期経常増減額			0
基本財産評価損益等			0
特定資産評価損益等			0
投資有価証券評価損益等			0
評価損益等計			0
<b>当期経常増減額</b>	<b>501,725</b>	<b>△ 3,480,066</b>	<b>3,981,791</b>

<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	501,725	△ 3,480,066	3,981,791
一般正味財産期首残高	115,203	3,595,269	△ 3,480,066
一般正味財産期末残高	616,928	115,203	501,725
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0
受取寄付金等	612,946	1,321,309	△ 708,363
事業運営への寄付	0	0	0
事業指定プログラムへの寄付金	288,500	77,000	211,500
テーマ型プログラムへの寄付金	274,446	744,309	△ 469,863
冠ファンドへの寄付金	50,000	500,000	△ 450,000
一般正味財産への振替額	2,147,574	834,000	1,313,574
当期指定正味財産増減額	△ 1,534,628	487,309	△ 2,021,937
指定正味財産期首残高	5,647,574	5,160,265	487,309
指定正味財産期末残高	4,112,946	5,647,574	△ 1,534,628
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>4,729,874</b>	<b>5,762,777</b>	<b>△ 1,032,903</b>

## 貸借対照表

2019年3月31日現在(決算)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,533,478	364,163	1,169,315
未収金	0	51,116	△ 51,116
前払費用	2,570	0	2,570
商品	0	42,315	△ 42,315
流動資産合計	1,536,048	457,594	1,078,454
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
事業指定助成プログラム	288,500	0	288,500
子どもの今と未来を支える基金	274,446	1,573,952	△ 1,299,506
さくら基金(冠基金)	550,000	500,000	50,000
財団運営寄付	0	573,622	△ 573,622
特定資産合計	1,112,946	2,647,574	△ 1,534,628
(3)その他固定資産			
敷金	120,000	120,000	0
その他固定資産合計	120,000	120,000	0
固定資産合計	4,232,946	5,767,574	△ 1,534,628
資産合計	5,768,994	6,225,168	△ 456,174
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	404,750	△ 404,750
預り金	39,120	57,641	△ 18,521
流動負債合計	39,120	462,391	△ 423,271
2. 固定負債			
長期借入金	1,000,000	0	1,000,000
固定負債合計	1,000,000	0	1,000,000
負債合計	1,039,120	462,391	576,729
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	4,112,946	5,647,574	△ 1,534,628
指定正味財産合計	4,112,946	5,647,574	△ 1,534,628
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(1,112,946)	(2,647,574)	△ 1,534,628
2. 一般正味財産	616,928	115,203	501,725
正味財産合計	4,729,874	5,762,777	△ 1,032,903
負債及び正味財産合計	5,768,994	6,225,168	△ 456,174

# 監査報告書

2020年5月13日

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

理事長 関谷 昇 様

監事 内山 真章

同 豊岡 正弘

私たちは、2020年5月13日、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金事務所において、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき、本法人が作成した2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度に係る定款第9条第1項各号に掲げる事業報告書及び計算書類に対し監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査方法及び内容

私たちは理事会に出席するほか、必要に応じ理事長及び理事に対して説明を求め、重要な書類等を閲覧するなどして業務の執行状況を調査しました。

監査にあたっては119項目にわたる「監査チェックリスト」により事前に担当者による記入を求め、監査当日は本チェックリストに基づき会計帳簿や証憑書類の照合、担当者への質問等を行い合理的な保証を得るための手続きを行いました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告書

①事業報告書及びその付属明細書は法令及び定款に従い適正に表示されているものと認めます。

②理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類

会計処理は我が国において一般に公正妥当と認められる会計原則及び公益法人会計基準に則り適正に処理されており、計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は真実な内容を明瞭に表示しているものと認めます。

以上

## 監査意見

2020年(令和2年)5月13日、実施した監査について、下記のとおり、監事監査意見を示します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言にともない、事業の実施、会議等の開催については、安全面に充分ご配慮頂きたいと思います。

1.【新規】　すでに理事会等で審議されていますが、財団の運営資金が調達できず人件費の未払いが生ずる期間があります。言うまでもなく、人件費は法人運営の要であり、一時にせよ未払いが生じることは許されるものではありません。早急に具体的施策を講じるよう監査意見を附します。

2.【継続】　評議員会、理事会で「書面決議」がありますが、やむを得ない場合を除き、書面決議は避けるべきだと思います。特に法人事業目的に係る審議事項については、役員間での意見交換と方針の共有が必要なものもあることから、できるだけ日程を調整して開催するようにして下さい。

3.【削除】　「業務執行理事ミーティング」については、法人の事業及び運営に係る事項等について理事会に上程する打合せは行われていないので削除する。

4.【継続】　事務負担の軽減について、これまでも検討してきましたが、資金調達が計画通り達成できず、依然として専務理事一人の負担に頼っている現状があります。従って、改めて業務の合理化、簡素化等を目指し、併せて、速やかな事務処理を促進するための具体的措置が必要です。

5.【再掲】　事業報告書と財務諸表の結びつきについては、昨年度改善されてきているとして削除しましたが、改めてご配慮下さい。

以上

## 財産目録

2020年3月31日現在(決算)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【流動資産の部】</b>				
	現金 預金	手元保管	運転資金として	1,660
		普通預金		
		ゆうちょ銀行058店	運転資金として	13,442
		千葉銀行真砂支店	運転資金として	688,488
	未収金	当座預金		
郵便振替口座		運転資金として	150,373	
		弘前大学他	視察料他	40,326
流動資産合計				894,289
<b>【固定資産の部】</b>				
基本財産	定期預金	千葉信用金庫花園支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	3,000,000
特定資産	預金	普通預金		
		千葉銀行真砂支店	公1 助成事業(子どもの今と未来を支える基金)の資産として管理	750,009
		千葉銀行真砂支店	公1 助成事業(まつど子育てささえあい基金)の資産として管理	19,262
		千葉銀行真砂支店	公1 助成事業(さくら基金)の資産として管理	600,000
		千葉銀行真砂支店	公1 財団運営寄付の資産として管理	775,337
		千葉信用金庫花園支店	公1 助成事業(2019千葉県台風・豪雨災害支援基金)の資産として管理	3,804,290
その他固定資産	敷金	千葉市中央区春日1-20-15篠原ビル301	事務所の敷金として	120,000
固定資産合計				9,068,898
資産合計				9,963,187
<b>【流動負債の部】</b>				
	預り金		職員 源泉所得税・労働保険	14,289
流動負債合計				14,289
<b>【固定負債の部】</b>				
	長期借入金	個人	運転資金として	1,000,000
固定負債合計				1,000,000
負債合計				1,014,289
<b>【正味財産の部】</b>				
	指定正味財産			8,948,898
	一般正味財産			0
正味財産合計				8,948,898
負債・正味財産合計				9,963,187

財務諸表に対する注記

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

最新の「公益法人会計基準」を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
受取民間助成金	0	0	0	0
受取寄付金	1,112,946	11,269,314	6,433,362	5,948,898
事業指定プログラム	288,500	53,000	341,500	0
テーマ型プログラム	274,446	6,477,115	2,278,000	4,473,561
冠ファンド	550,000	1,250,000	1,100,000	700,000
財団運営寄付	0	3,489,199	2,713,862	775,337
小計	1,112,946	11,269,314	6,433,362	5,948,898
合計	4,112,946	11,269,314	6,433,362	8,948,898

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
受取民間助成金	0	(0)	(0)	(0)
受取寄付金	5,948,898	(5,403,974)	(0)	(0)
事業指定プログラム	0	(0)	(0)	(0)
テーマ型プログラム	4,473,561	(4,473,561)	(0)	(0)
冠ファンド	700,000	(700,000)	(0)	(0)
財団運営寄付	775,337	(230,413)	(0)	(0)
小計	5,948,898	(5,403,974)	(0)	(0)
合計	8,948,898	(8,403,974)	(0)	(0)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳並びに指定正味財産の内訳及びその残高

当期指定正味財産期末残高の内訳は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期一般正味財産振替額	当期末残高
受取寄付金				
事業指定助成プログラム	288,500	53,000	341,500	0
テーマ型プログラム寄付金 (子どもの今と未来を支える基金)	274,446	475,563	0	750,009
テーマ型プログラム寄付金(ま つど子育てささえあい基金)	0	19,262	0	19,262
テーマ型プログラム寄付金 (2019千葉県台風・豪雨災害支 援基金)	0	5,982,290	2,278,000	3,704,290
冠ファンド・褒章プログラム寄 付金(さくら基金)	550,000	50,000	0	600,000
冠ファンド・褒章プログラム寄 付金(中央ろうきん2019千葉県 台風・豪雨災害支援基金)	0	1,200,000	1,100,000	100,000
財団運営寄付	0	3,489,199	2,713,862	775,337
基本財産	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	4,112,946	11,269,314	6,433,362	8,948,898

5. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員・業務等	事業上の関係				
役員等	個人	—	—	NPO法人の代表理事	—	—	当法人の役員	資金借入	1,000,000	長期借入金	1,000,000

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

長期借入金については、返済期日2023年9月17日、無利子、期日までに一括返済の旨決定している。なお、担保は提供していない。

**2019年度正味財産増減計算書**  
2019年4月1日から2020年3月31日(決算)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	2,641	840	1,801
基本財産受取利息	2,641	840	1,801
公益目的事業収益	1,403,647	4,334,368	△ 2,930,721
情報発信・啓発事業	235,000	82,800	152,200
資源仲介事業(チャリティ事業等)	347,647	191,568	156,079
助成業務等支援事業(受託事業)	700,000	700,000	0
他機関との連携協働事業(受託事業)	121,000	3,360,000	△ 3,239,000
受取補助金等	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0
受取寄付金	6,433,362	3,095,638	3,337,724
受取寄付金	0	948,064	△ 948,064
受取寄付金振替額	6,433,362	2,147,574	4,285,788
雑収益	26	14	12
受取利息	26	14	12
<b>経常収益合計</b>	<b>7,839,676</b>	<b>7,430,860</b>	<b>408,816</b>
(2)経常費用			
事業費	8,064,193	6,525,818	1,538,375
役員報酬	66,400	733,600	△ 667,200
給料手当	2,296,121	1,444,550	851,571
福利厚生費	396,480	438,027	△ 41,547
会議費	39,575	147,968	△ 108,393
旅費交通費	350,632	277,038	73,594
通信運搬費	474,778	395,461	79,317
消耗什器備品費	0	125,000	△ 125,000
消耗品費	58,914	111,450	△ 52,536
印刷製本費	300,554	269,029	31,525
チャリティ事業支出	207,211	332,004	△ 124,793
光熱水費	79,533	83,813	△ 4,280
賃借料	576,000	576,000	0
リース料	46,656	0	46,656
諸謝金	50,000	60,000	△ 10,000
租税公課	850	2,000	△ 1,150
支払負担金	27,735	17,703	10,032
支払助成金	3,092,754	1,000,000	2,092,754
研修費	0	10,100	△ 10,100
委託費	0	420,000	△ 420,000
雑費	0	82,075	△ 82,075
管理費	392,411	403,317	△ 10,906
役員報酬	126,600	183,400	△ 56,800
会議費	5,766	0	5,766
旅費交通費	21,490	656	20,834
通信運搬費	3,665	6,162	△ 2,497
消耗品費	8,946	991	7,955
印刷製本費	6,953	4,672	2,281
光熱水費	9,587	9,304	283
賃借料	144,000	144,000	0
リース料	11,664	0	11,664
租税公課	2,300	3,100	△ 800
諸会費	50,000	50,000	0

支払負担金	756	432	324
雑費	684	600	84
経常費用合計	<b>8,456,604</b>	<b>6,929,135</b>	<b>1,527,469</b>
評価損益等調整前当期経常増減額			0
基本財産評価損益等			0
特定資産評価損益等			0
投資有価証券評価損益等			0
評価損益等計			0
当期経常増減額	<b>△ 616,928</b>	<b>501,725</b>	<b>△ 1,118,653</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 616,928	501,725	△ 1,118,653
一般正味財産期首残高	616,928	115,203	501,725
一般正味財産期末残高	0	616,928	△ 616,928
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0
受取寄付金等	11,269,314	612,946	10,656,368
事業運営への寄付	3,489,199	0	3,489,199
事業指定プログラムへの寄付金	53,000	288,500	△ 235,500
テーマ型プログラムへの寄付金	6,477,115	274,446	6,202,669
冠ファンドへの寄付金	1,250,000	50,000	1,200,000
一般正味財産への振替額	6,433,362	2,147,574	4,285,788
当期指定正味財産増減額	4,835,952	△ 1,534,628	6,370,580
指定正味財産期首残高	4,112,946	5,647,574	△ 1,534,628
指定正味財産期末残高	8,948,898	4,112,946	4,835,952
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>8,948,898</b>	<b>4,729,874</b>	<b>4,219,024</b>

## 貸借対照表

2020年3月31日現在(決算)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	853,963	1,533,478	△ 679,515
未収金	40,326	0	40,326
前払費用	0	2,570	△ 2,570
流動資産合計	894,289	1,536,048	△ 641,759
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
事業指定助成プログラム	0	288,500	△ 288,500
子どもの今と未来を支える基金	750,009	274,446	475,563
まつど子育てささえあい基金	19,262		
2019千葉県台風・豪雨災害支援基金	3,704,290		
さくら基金(冠基金)	600,000	550,000	50,000
中央ろうきん2019千葉県台風・豪雨災害支援基金	100,000		
財団運営寄付	775,337	0	775,337
特定資産合計	5,948,898	1,112,946	4,835,952
(3)その他固定資産			
敷金	120,000	120,000	0
その他固定資産合計	120,000	120,000	0
固定資産合計	9,068,898	4,232,946	4,835,952
資産合計	9,963,187	5,768,994	4,194,193
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	14,289	39,120	△ 24,831
流動負債合計	14,289	39,120	△ 24,831
2. 固定負債			
長期借入金	1,000,000	1,000,000	0
固定負債合計	1,000,000	1,000,000	0
負債合計	1,014,289	1,039,120	△ 24,831
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	8,948,898	4,112,946	4,835,952
指定正味財産合計	8,948,898	4,112,946	4,835,952
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(5,948,898)	(1,112,946)	△ 1,534,628
2. 一般正味財産	0	616,928	△ 616,928
正味財産合計	8,948,898	4,729,874	4,219,024
負債及び正味財産合計	9,963,187	5,768,994	4,194,193